

つばた

議会だより

No.134

2015. 7. 5



5月会議 新正副議長決まる 2P

6月会議 太陽光発電を津幡中学校に 4P

クローズアップ 和歌山県上富田町と小学生スポーツ交流を 6P

委員会審議 本津幡・倶利伽羅駅前駐車場を月極化 7P

いっばん質問 子ども医療費助成を現物給付方式に 8人が登壇 9P

そらまでとどけ!

(太白台保育園)

4月26日に行われた町議会議員選挙で16人の住民代表が決まった。5月8日に5月会議を開催し、議長、副議長の選挙を行った。常任委員会および議会運営委員会などの委員も同日、選任した。引き続き、一般会計補正予算と条例改正の議案2件、承認13件が提出された。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

第29代議長に 第30代副議長に 向 正則氏 酒井 義光氏



向 正則 議長

地方分権、地域主権、地方創生が推進されている中、議会が果たす役割はますます重要なものとなっております。町の発展と円滑な議会運営、開かれた議会のさらなる推進を目指し、誠心誠意努めていく所存です。



酒井 義光 副議長

議長を補佐し、町民の負託にこたえるべく、議会の円滑な運営、活性化に精いっぱい努力してまいります。今後とも皆さまのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

一般会計 補正予算

1億49万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額129億8049万円に

○公有財産購入費

1億49万円

横浜地内にある町有地を土地開発基金から一般会計が取得するため、増額補正する。取得後は、民間宅地開発業者に売却予定である。

○土地開発基金条例の1部改正

土地開発基金の運用を妨げない額を限度に基金の一部を処分することができること、処分が行われた場合、その処分相当額が減少することを追加する。

(賛成14人・反対1人)



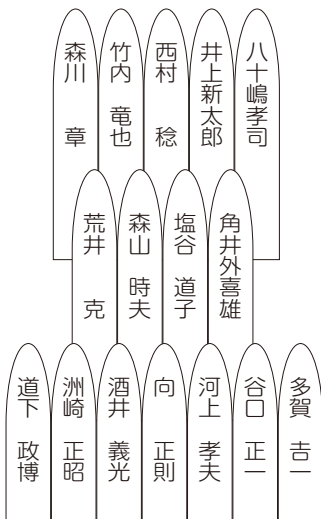
▲有効活用に期待 (横浜地内)

Start!!

新組織が決定



▲町民の期待にこたえられるように



◆総務常任委員会

- 委員長 荒井 克
- 副委員長 角井外喜雄
- 委員 西村 稔

◆議会運営委員会

- 委員長 洲崎 正昭
- 副委員長 谷口 正一
- 委員 多賀 吉一

◆県森林公園活性化 対策特別委員会

- 委員長 河上 孝夫
- 副委員長 道下 政博
- 委員 酒井 義光

◆文教福祉常任委員会

- 委員長 八十嶋孝司
- 副委員長 道下 政博
- 委員 竹内 竜也

◆広報調査特別委員会

- 委員長 塩谷 道子
- 副委員長 荒井 克
- 委員 竹内 竜也

◆議会改革検討 特別委員会

- 委員長 酒井 義光
- 副委員長 多賀 吉一
- 委員 八十嶋孝司

◆産業建設常任委員会

- 委員長 森山 時夫
- 副委員長 谷口 正一
- 委員 森川 章

◆大河ドラマ誘致推進 特別委員会

- 委員長 向 正則
- 副委員長 酒井 義光
- 委員 議員全員

◆監査委員

- 道下 政博

◆郡市広域事務組合 議会議員

- 角井外喜雄
- 酒井 義光
- 洲崎 正昭
- 河上 孝夫

◆県後期高齢者医療 広域連合議会議員

- 向 正則

を確保

光発電を 津幡中学校に

設計委託料に270万円計上

6月会議を4日から11日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計補正予算、条例の制定・改正などを含む議案11件が提出され、引き続き町政全般について8人が一般質問を行った。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願2件を不採択とし、意見書1件を可決した。

続いて選挙管理委員、選挙管理委員補充員の選挙を行い、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の任命について同意した。

強靱な国土整備と災害時に強く、低炭素な地域づくりを国を挙げて推奨する中、県では国からの補助金を受け、再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューデール基金）を創設し、市町に対し補助金を交付することとした。町はこの補助金を活用し、津幡小を除く町内小中10校に蓄電池設備保有の誘導灯を設置する工事に1300万円（6P参照）と津幡中学校での災害時の電源確保のため、太陽光発電施設

の整備設計委託料270万円を計上した。太陽光発電は、平成28年度の設置を目指す。



▲太陽光パネルで省エネを（津幡小学校）

一般会計補正予算

1億7257万円を可決
(賛成14人・反対1人)

一般会計総額131億5306万円に

避難時における電源

太陽



▲待ちどおしい太陽光発電（津幡中学校）

人事

選任された委員

選挙管理委員会委員

勝崎 隆氏



再任
(横浜)

小蕎 義夫氏



再任
(太田)

中農 純子氏



再任
(竹橋)

松岡 章文氏



再任
(倉見)

公平委員会委員

塩谷 尚子氏



新任
(庄)

選挙管理委員会委員補充員

中島 勉氏



再任
(川尻)

酒井美代子氏



再任
(浅田)

焼田 新一氏



新任
(南中条)

加茂千代子氏



新任
(北中条)

固定資産評価審査委員会委員

尾山 信行氏



新任
(能瀬)

(以上、全員賛成)

こんなことに使われます クローズアップ

6月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

和歌山県上富田町と

小学生スポーツ交流を

90万円

災害時相互応援協定を締結している和歌山県上富田町とスポーツ交流を図り、子どもたちのコミュニケーション能力を高めるとともに郷土への愛着心を培う。

Q どのスポーツ団体が行くのか。

A 今回は中条サッカー少年団の選手20人での参加を予定している。



▲上富田町のサッカー場

町道加賀爪18号線歩車道を修繕

1575万円



▲歩行者に優しく

舗装修繕に合わせて、車道と宅地の乗り入れ部に段差がある道路を、緩めの勾配でスムーズになるよう改良する。今後はできるだけフラット型に変えていく。

災害時における避難誘導灯を設置

1300万円

災害時に小中学校の避難場所である体育館への円滑な誘導のため、蓄電池設備保有の誘導灯を設置する。

津幡小学校には設置済みであり、残りの8小学校、2中学校に設置する。



▲安心の目印
(津幡小学校)

マイナンバー制度導入に向け

基幹電算システムを改修

2885万円

社会保障・税番号制度の導入に向け、国の補助を受け現行の基幹業務システムの改修を行う。

反対

個人情報が一手に握られることへの懸念や情報漏れ、不正使用などへの不安が広がっている。日本年金機構の個人情報流出問題の解決の糸口さえ見えない中では、改修への町民の理解、納得は得られない。

塩谷 道子 議員

委員会 審議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎荒井 克◎角井外喜雄 西村 稔 塩谷道子 向 正則 河上孝夫

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎八十嶋孝司◎道下政博 竹内竜也 酒井義光 洲崎正昭

産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎森山時夫◎谷口正一 森川 章 井上新太郎 多賀吉一

（◎委員長 ○副委員長）

文教福祉

新たに2科を増設

禁煙外来もスタート

-河北中央病院-



▲もっと健康に

Q 増設される診療科目は。
A 肛門外科とリハビリテーション科である。

Q 禁煙外来はいつでも受診可能か。
A 毎週火曜日午後2時から予約制（2人）で、院長が担当医となる。

本津幡・俱利伽羅駅

駅前駐車を月極化

-交流経済課-

産業建設

Q 送迎用の無料駐車スペースは各何台か。
A 本津幡駅7台、俱利伽羅駅5台である。

Q 無料駐車場の違法車管理は。
A ルール違反がないか、定期的に調査する。

Q 俱利伽羅駅は県外在住者の利用があるが、料金は同額か。
A 検討したが、IRRいしかわ鉄道利用者の観点で同額とした。

Q 収入額の見込みは。
A 年間108万円ほどと見込んでいます。

▶築40年の役場庁舎



必要な財源を確保

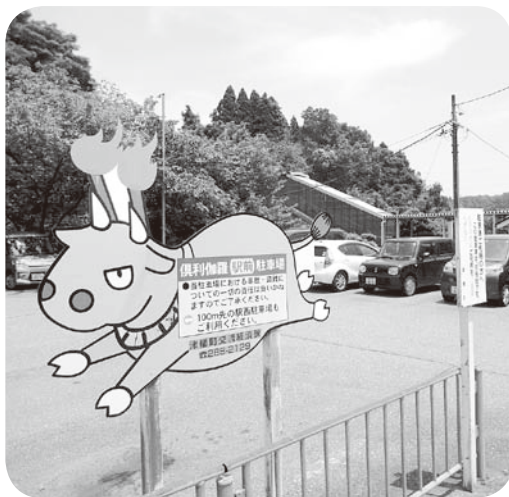
庁舎整備基金条例を制定

-監理課-

Q 基金の積み立ての目標は。
A おおむね10億円を目標としたい。

Q 庁舎を改修するか、建て替えるかの検討は。
A 資金のめどが立った時期に考える。

Q 基金は毎年続けるのか。
A 定期的に決まった額を積み立てるのではなく、町の財政状況や決算状況を見て積み立てる。



▲8月1日から月極化（俱利伽羅駅）

みなさまからの 請願2件を審査

不採択となった請願

「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める

◎請願者 戦争をさせない石川の会

代表者 蒔 昭三

紹介議員 塩谷 道子

(賛成2人・反対13人)

賛成

国会審議の前に米国で成立を約束したのは国会軽視である。集団的自衛権により海外へ自衛隊を送り、武器の使用を認めることは憲法違反である。

塩谷 道子議員

賛成

安全保障法制の整備は重要だが、憲法に忠実であることが前提だ。このまま成立させれば、将来に禍根を残すことになる。

竹内 竜也議員

反対

安保関連法案は、憲法違反ではないという政府見解を支持する。日本の平和と安全を守るためのさらなる法整備が必要と考える。

井上新太郎議員

反対

テロリストの攻撃や拉致被害を考えると、我が国を守る準備をすることは当然である。

西村 稔議員

反対

今回の法整備は、日米防衛協力体制の信頼性、実効性を高め、強化するもので、すぎ間のない日本の防衛と国際貢献のために必要である。

道下 政博議員

反対

集団的自衛権行使の限定的な容認により、国民の平和な暮らしを守るため、本法案が提出された。違憲であるか否かは司法の場で判断すべきだ。

角井外喜雄議員

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書の提出を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

池田 邦三

紹介議員 道下 政博

(賛成2人・反対13人)

委員会の主な意見

請願の中に、『認知症の人と家族を支えるための基本法(仮称)』を早期に制定することとあるが、この法案自体がまだ存在しておらず審議もできないため、賛成できない。

文教福祉常任委員会発議で 意見書を国に提出

認知症への取り組みの充実強化を求める意見書

左記の事項について適切な措置を講じられるよう、強く要望する。

記

- 1 認知症の方々の尊厳、意思、プライバシー等が尊重される社会の構築を目指し、学校教育などにより認知症への理解を一層促進するとともに、認知症の予防・治療法確立、ケアやサービスなど認知症の人と家族を支えるための総合的な施策について、具体的な計画を策定することを定めた基本法を早期に制定すること。
- 2 認知症に見られる不安、抑うつ、妄想など心理行動症状の発症・悪化を防ぐため、訪問型の医療や看護サービスなどの普及促進を地域包括ケアシステムの中に適切に組み入れること。
- 3 自治体などの取り組みについて家族介護、老老介護、独居認知症高齢者など、より配慮を要する方々へのサービスの好事例(サロン設置、買い物弱者への支援等)を広く周知すること。
- 4 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の効果を見極めるため、当事者や介護者の視点を入れた点検・評価を適切に行い、その結果を施策に反映させること。

(全員賛成)

ズバリ

町政を問う

8人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 八十嶋孝司 議員……………10
 - ・子ども医療費の助成を現物給付方式に変更せよ
 - ・空き家対策条例を制定せよ

ほか1問
- 2 塩谷 道子 議員……………11
 - ・18歳までの医療費無料化を
 - ・国保税を1世帯当たり年間3万円引き下げよ

ほか3問
- 3 竹内 竜也 議員……………12
 - ・若い有権者への啓発事業は
 - ・個人情報の保護は万全か
- 4 荒井 克 議員……………13
 - ・ツエーゲン金沢の練習拠点を誘致せよ
 - ・行政委員の公募・再任年齢を見直せ
- 5 森川 章 議員……………14
 - ・中小企業振興基本条例を制定せよ
 - ・森林公園をレジャーに適すよう整備せよ

ほか1問
- 6 井上新太郎 議員……………15
 - ・小規模校を存続させよ
 - ・住みよい町の具体像を示せ
- 7 西村 稔 議員……………16
 - ・小規模畑地の売買を容易にできるように
 - ・ぐるりんこ買い物バスの創設を

ほか2問
- 8 道下 政博 議員……………17
 - ・住宅耐震補助制度の拡充と周知徹底を
 - ・周辺市町に負けない定住促進対策を

ほか1問

議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回
(3月、6月、9月、12月)
行われます。

議会の会議録は
町議会ホームページで
みることができます。

お問い合わせは、
議会事務局 (Tel.288-6410)

ん質問



八十嶋孝司 議員

子ども医療費

現物給付方式に

変更せよ

平成28年1月から

導入する

八十嶋 議員

当町の子ども医療費助成制度は、医療費の自己負担分をいったん医療機関窓口で全額支払った後、役場窓口で申請して返還される償還払い方式となっている。

この制度では平日役場に出向くことになり、共働きの夫婦などには大変不便である。

県の緩和策を踏まえ、保護者の負担軽減を図るため、現物給付方式に変更せよ。

矢田 町長

県では、本年度から子ども医療費等助成事業の市町への補助対象を現物給付方式へも拡大している。

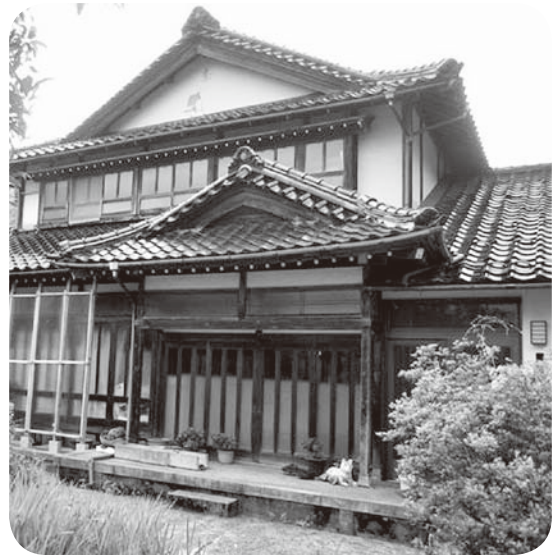
当町でも近隣市町とのバランスや住民の利便性、子育て世帯の家計負担軽減などを考慮し、平成28年1月から通院1回につき窓口で支払う上限を500円とし、それを超える分は現物給付方式を導入する。

月3回以上の受診で1人1か月分の負担が1000円を超えた場合は、指定口座への自動償還払いとする。

条例を制定せよ

本年度中の制定を検討している

空き家対策



▲活用が待たれる空き家

八十嶋 議員

本年5月、国は空家等対策の推進に関する特別措置法を制定し、空き家問題に対策を講じるよう自治体に求めた。

当町の事態と対策および空き家バンクの利用状況を示せ。

また、国の方針を踏まえ、空き家対策条例を制定する考えはあるか。

矢田 町長

当町の空き家の実態数は、住宅1万2750棟のうち820棟で、空き家率は全国平均13・5%に対し、6・4%である。

空き家バンクへの登録は10件で伸び悩んでいるが、今後成功例などもPRし、登録件数の促進を図りたい。

5月施行の特別措置法に基づき、当町でも本年度中の条例制定を目指し、検討している。

その他の質問

Q 新幹線の見える丘公園の来園者を取り込む施策を。

A 創意工夫し、対応していく。



塩谷道子 議員

ズバリ
町政を問う

いっぴ

子育て支援

18歳までの
医療費無料化を

町単独での実施は
考えていない

塩谷 議員
子どもの医療費を病院窓口で無料にしてほしいという町民の願いは大きくなっている。18歳までの医療費無料化などは子育て支援に対する一つの流れであり、自治体の本気度を示すバロメーターとも言える。単独での子ども医療費無料化も実現可能なはずであり、町として決断せよ。



◀元氣いっぴい！
(つばた幼稚園)

矢田 町長

平成28年1月から通院1回につき窓口で支払う上限を500円とし、それを超える分は現物給付方式を導入する。町単独で自己負担の廃止による窓口無料化と対象年齢を18歳までに拡大することは考えていない。

国 保 税

1世帯3万円の
引き下げを

現段階では
考えていない

塩谷 議員

国保税の収入未済額や不納欠損額の大きさは、支払い意思はあるが担税力がない町民の存在を浮き彫りにしている。1世帯3万円の引き下げを实

また、平成30年から国保の財政運営が都道府県に移管され、税額の上昇や徴収の厳格化が予想される。町民の側に立ち、こうした動きに反対を表明せよ。

矢田 町長

1世帯当たり3万円引き下げると、約1億3000万円の財源を要することになる。その財源を一般会計から法定外に繰り入れることは、現段階では考えていない。

国保運営が都道府県単位になれば加入者が多くなり、保険料収入が増え、財政が安定する。公費拡充などによる低所得者対策や財政基盤の強化が図られることを考慮すれば、広域化は理解できる。



▲安定した医療サービスを

その他の質問

- Q** 空き家解体後の固定資産税に特例を考慮せよ。
- A** 町単独で軽減措置をとる考えはない。
- Q** 障害者等外出支援事業の適用を拡大せよ。
- A** 現制度を維持している。
- Q** 体験型観光交流公園の建設計画を見直せ。
- A** 根本的な見直しは考えていない。

ん質問



竹内 竜也 議員

18歳選挙権

若い有権者への
啓発事業は

効果的な活動を
推進したい

竹内 議員

公職選挙法改正により、平成28年の夏には18歳、19歳の若い有権者が投票することになる。全国的に投票率の低下が顕著であり、当町も例外ではない。投票率のアップには、若者に主権者

若いう有権者にとどまらず、未来の有権者である子どもたちへの啓発事業を実施せよ。



未来の有権者に期待

石庫 総務課長

平成24年度から小学6年の3学期に行われる政治の授業に合わせて、選挙に関する講話と模擬投票体験教室を実施し、3年間で計17回、総数845人の児童が体験している。

体験後のアンケートでは選挙に対する関心が高まっており、今後も引き続き効果的な啓発活動を推進したい。

個人情報の保護は万全か 確実な保護に努めていく

マイナンバー

竹内 議員

平成28年1月からマイナンバー制度の運用が開始されるが、住民の理解が進んでいるとは言いがたい。

今後、個人番号の利用範囲はさらに拡大されると思われる、情報セキュリティ上のリスクは飛躍的に高まる。

個人情報漏えいなどのリスクに対する認識、住民のプライバシー保護の対策は万全か。

矢田 町長

26年8月に各課の法規担当者マイナンバー担当者に指定し、体制を強化するとともに、町職員への研修会も開催している。

悪意のある外部からの攻撃リスクに備えるとともに、内部からの情報漏えいリスクにも目を向け、特定個人情報の適正な取り扱いに関するガイドラインのつとめ、適切な取り扱いを徹底し、プライバシー情報の確実な保護に努めていく。

あなたにも、マイナンバー。はじまります。

平成27年10月からマイナンバーを一人ひとりにお届けします！

マイナンバー(個人番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のこと。
 ・平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続で使用が始まりますので、大切にしてください。
 ・法人にも13桁の法人番号が指定され、官民問わず自由に使用できます。
※行政手続や関係機関の利用目的上のみ、平成28年1月1日よりマイナンバーが利用可能となります。ただし、マイナンバーが国民の権利利益を保護するために必要と認められる場合には、マイナンバーが利用できません。

行政の効率化 手続きが正確で 早くなる	国民の利便性の向上 面倒な手続きが 簡単に	公平・公正な社会の実現 給付金などの 不正支給の防止
<small>行政機関・地方公共団体での作業の負担が軽減され、事務量がスムーズになります。</small>	<small>申請時に必要な書類が揃っていない場合に、マイナンバーを照会することで必要な書類を簡単に入手できるようになります。</small>	<small>行政機関が国民の権利利益を保護するために必要と認められる場合には、マイナンバーが利用できません。</small>

マイナンバー-総務の相談・問い合わせ
0570-20-0178

マイナンバー-検索

内閣府

マイナンバー(個人番号)は、法律で定められた目的以外での使用、他人への提供が禁じられています。



荒井 克 議員

ズバリ 町政を問う

いっぴ

荒井 議員
プロサッカー、Jリーグへの昇格が期待されるツエーゲン金沢は、当町とも縁が深い。
津幡運動公園は、陸上競技場などの施設が充実しており、練習拠点としても最適である。スポーツを通じた町のさらなる活性化を図るためにも、ツエーゲン金沢の練習拠点として誘致せよ。

Jリーグ

ツエーゲン金沢の練習拠点を誘致せよ

調査結果を踏まえ検討する



◀目指せ！Jリーグ

矢田 町長

練習拠点を誘致することが交流人口の拡大や元気なまちづくりに有効であることは認識しているが、施設整備などの諸条件を満たす必要がある。
5月下旬、ツエーゲン金沢の関係者が現地視察し、施設整備の可能性や経費を検討している。
その結果を踏まえ、関係団体との協議、調整を経た上で、誘致を判断したい。

行政委員

公募・再任年齢を見直せ

再任年齢の延長を考えている

荒井 議員

行政委員の公募は70歳を限度とするものが多い。しかし、高齢者雇用安定法改正により、段階的に65歳までの継続雇用が義務づけられることに

なるため、年齢の引き上げを考慮すべきである。専門的知識や経験を行行政運営に生かすべく、70歳を超えても活躍の場を与えられるよう取り組み。

矢田 町長

各種行政委員の選任は70歳を目安としているが、専門的知識を要する分野は70歳以上の方を推薦する場合がある。
事業主に対する65歳までの継続雇用の義務づけを見据え、平成28年度からは再任目安を5歳延ばして75歳としたい。

なお、若い方を含めより多くの方の町政参画の機会を確保したいため、公募委員は募集年齢を70歳までとする。



▲高齢者も参画を

ん質問



森川 章 議員

中小企業

振興基本条例を 制定せよ

現時点では
考えていない

森川 議員

小規模事業者が経済、社会、文化および国民生活において果たす役割を正當に評価し、豊かな国づくりの柱として据える中小企業憲章が閣議決定された。

当町においても中小企業振興基本条例を制定し、経済振興の理念を示す必要がある。条例制定への考えと産業振興への取り組みを問う。



町の花屋さん

現在策定を進める第5次津幡町総合計画で、既存商店街の整備、商工会活動の支援・推進、企業誘致など、中長期的な産業振興策を含めて考えている。

また、町商工会が策定を進める経営発達支援事業計画に対し積極的に協力を行い、中小企業振興の活性化を図っていく。

現時点では基本条例の策定は考えていない。

矢田 町長

レジャーに適すよう 整備せよ

県が維持管理に努めている

森林公園



▲親子で楽しめるように

森川 議員

県森林公園内の日本フイールドアスレチック協会公認コースは、老朽により破損した箇所も見られ、レジャーに適した状態とは言えない。親子連れでも楽しめるようにコースを整備せよ。

また、企業誘致によるレジャーアスレチックの充実の考えは。

矢田 町長

県から委託を受けている指定管理者によれば、コース内全種目には老朽などにより使用不可のものはなく、日々の点検を行うことよって、適切な維持管理に努めていることである。

企業誘致によるアスレチックの充実は、現時点では考えていないと聞いている。

町としては、今後も町民に愛される公園になるよう、県に提案していきたい。

その他の質問

- Q 現物給付による子ども医療費助成を急げ。
- A 平成28年1月から実施する。



井上新太郎 議員

ズバリ 町政を問う

いっぴ

小学校

小規模校を 存続させよ

統廃合の議論は
していない

井上 議員

地域の過疎化、少子化の進行により、刈安小、笠野小では、数年前から複式の授業が行われている。今後、統廃合に向けた議論が具体化するのではないかと懸念される。学校は、地域にとって人づくりやコミュニティの場として、さらに災害時の避難場所としても重要である。小規模校であっても存続させよ。

矢田 町長



▲伝統が根づく刈安小学校

現時点では、両校の統廃合の議論は町として行っていない。小規模校では教材、教具を行き渡らせることができ、萩野台小学校との合同授業で児童生徒の学び合いもできている。今後、少子化による人口減少期に入るが、地元の方々が主体的に地域づくりを進めることと行政が関わるることによって、新たな可能性が生まれると考える。

まちづくり

住みよい町の具体像を示せ

希望が持てる

環境づくりを進めていく

井上 議員

町長の施策の中心には、常に住んでよかったと実感できる町の実現を目指すところがあるが、子育て支援、教育支援、医療支援などの観点からその具体像を示せ。

矢田 町長

子育て支援では低所得者階層の保育料の軽減、多子世帯への支援、病児保育の受け入れ、放課後児童クラブの増設などに取り組んでいく。

教育支援では給食管理指導職員の配置、特別支援教育支援員を増員し、体制の充実を図っている。医療支援では河北中央病院を充実させ、地域医療や介護も支える体制を整えたい。

高齢者支援では移動販売サービスの実施、外出支援なども考えている。現在のままならず将来にも希望が持てる環境づくりを念頭に、行政運営を進めていく。



▲子どもは町の宝

ん質問



西村 稔 議員

小規模畑地

売買を容易に
できるように

農業委員会が審議する

西村 議員

生活環境の変化により、野菜や果実の栽培に楽しみを見い出す家庭が増えてきた。小規模畑地が容易に売買できるように、制度を見直せ。

矢田 町長

農地法の制約があり、簡単に売買はできない。農地取得後の最低耕作面積は、町の農業委員会が毎年審議している。農地を所有していない人でも気軽に農業を体験できるように、当町と石川かほく農業協同組合が町内に8か所60区画のふれあい農園を開設している。



▲野菜をつくる楽しみを

ぐるりんこ 買い物バスの創設を

現時点では考えていない

商店街



▲あしたまた買い物に来まいかいね

西村 議員

最近の買い物客のニーズは、楽しみながら買物をするものである。町としても各商店で買物できるように、ぐるりんこ買い物バスのような制度をつくり、商店街の活性化を図れ。

矢田 町長

現在、町営バスや福祉バス、北鉄バスが中心部商店街を運行しており、そのようなバスの運行は現時点では考えていない。地元商店街の活性化策として、ふれあい広場やまちなか科学館、本年度建設する歴史資料館（仮称）とこれらの施設への回遊性をもたせることにぎわいの創出を図りたいと考えている。

その他の質問

Q 通学路の拡幅と融雪化を促進せよ。

A 現行の機械除雪により万全を期したい。

Q 高校卒業まで医療費を窓口無料化せよ。

A 助成対象年齢の拡大や窓口無料化は考えていない。



道下政博 議員

ズバリ
町政を問う

いっば

阪神大震災時の死因の9割近くは、家屋倒壊による圧死だったことや死者が出た木造住宅の98%が旧耐震基準で建てられていたという調査結果が公表された。
当町の住宅耐震化率は、約60%である。耐震化率向上に向け、補助制度のさらなる充実と広報による周知徹底を図れ。

道下 議員

耐震化

補助制度の拡充と周知徹底を

まず簡易耐震診断の利用を促す

矢田 町長

昭和56年以前に建てられた木造住宅で耐震診断や耐震改修を行う場合、その費用の一部を助成している。平成26年度からは簡易診断の助成も行っている。床面積が200㎡以内で図面がある場合は無料である。
町としては、まず簡易耐震診断を利用してもらうよう周知活動を図る。



▲より住みやすいまちづくりを

定住促進

周辺市町に

負けられない対策を

近隣自治体と

比較しても遜色はない

道下 議員

少子化・子育てや住宅補助金などの対策は、当町が発展するためには重要である。

定住促進策に常にアンテナを張り、提案していく対策室を設置し、周辺市町に負けられない対策をとれ。

矢田 町長

当町では、子どもを安心して産み育てる社会をつくることを重要施策の一つと位置づけており、多子世帯への保育料の軽減、病児保育の受け入れ、児童施設の増設などを行っている。

定住促進事業としては住宅取得に対する奨励金の交付を行い、交付件数はすでに150件を超えており、近隣自治体との比較でも遜色はないと考える。

今後、課題に対応できるように組織づくりも検討していきたい。

その他の質問

Q 6市町で進める連携

中枢都市圏の形成に向けた取り組みは。

A 圏域の経済成長を目指すための都市圏ビジョンを策定する予定である。

問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、3項目を選びレポートする。



▲みんなで食べるとおいしいね
(きらりんクラブ)

学童保育を少人数校にも開設せよ 平成25年6月会議 森山時夫議員

過疎化が進む地域では、児童の減少は大きな課題となっている。

少人数校となっている小学校には、学童保育施設がないため校区外に通学する児童もあり、さらに児童数が減少する。

少人数校であっても、学童保育を開設できないか。

答 弁

要望があれば検討する

地区からの要望があり、入所児童数が5人以上見込めれば指導員の確保、場所など地元と協議したい。

複数校での開設は学童保育施設と学校、家庭の距離を考えると安全の確保に問題があり、十分な協議が必要と考える。

その後

笠野小学校区に開設

保護者や地区からの要望のもと、本年3月29日に笠野小学校区に学童保育きらりんクラブが開所した。

施設は学校近くの山北区集会所を借用し、児童6人が入所した。

地方税滞納整理機構への参加意思是 平成24年12月議会 八十嶋孝司議員

当町の税金の滞納額は、担当課の努力により年々減少している。これ以上の徴収率向上には厳しいものがあると考えている。

県、白山市、野々市市、かほく市が参加する石川県央地区地方税滞納整理機構では効果を挙げていると聞かすが、この機構に参加する意思是。

答 弁

現時点では考えていない

平成20年に開設した納税推進室の取り組みが成果を挙げてきている。

機構への参加は収納率の向上に加え、人材の育成といった副次的な効果も期待できるが、派遣職員の確保などの課題もあり、現時点では考えていない。

今後も納税推進室を中心に徴税体制の強化を図っていく。

その後

平成27年度から参加

本年4月から当町も内灘町とともに機構に参加し、職員1名を派遣している。

当町からは当初分として、96人分1億1704万円の滞納事案を機構に引き継いだ。県や3市2町で連携しながら滞納整理の強化を図り、公平な税負担を目指す。





追跡 あの質

旭山工業団地の公園整備を

平成26年3月会議 荒井 克議員

旭山2号公園は、走り抜ける北陸新幹線が一望できる場所であり、絶好の撮影スポットでもある。

開通すればたくさんの人が訪れることが予想されるが、安全対策、駐車場の確保、環境整備などを考えていくべきではないか。

また、公園の名称も親しみやすくユニークなものに変えることができないか。

答 弁

新幹線開業までに整備する

北陸新幹線の金沢開業までに、フェンスや階段の手すりの設置、路上駐車を防止するための駐車場整備、近隣施設紹介やごみ捨て禁止など各種案内サインの設置など、具体的な計画の検討を始めたところである。

また、公園の名称も愛称という形で親しみやすく、地域に合ったものを検討していきたい。

その後

新幹線の見える丘公園としてオープン

平成26年9月から旭山2号公園の改修に着手し、本年3月4日、新幹線の見える丘公園としてオープンした。

改修後の公園は、車両がよく見えるように樹木を伐採し、安全を確保するためフェンスを設けたほか、駐車場やトイレを新設した。

3月14日の金沢開業後は、県内外からたくさんの方が訪れている。



自治功労者表彰

4月14日に石川県町村議会議長会が開催され、自治功労者表彰を受けた。

全国町村議会議長会表彰
(15年以上)



谷口 正一 議員



南田 孝是 前議員

全国町村議会議長会表彰
(特別表彰)



道下 政博 議員

3月第2回会議

3月30日に3月第2回会議を開催した。条例改正の議案1件が提出され、可決した。

下水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部改正

公共下水道事業整備基金条例が廃止されることに伴い、その基金に属する現金、有価証券を平成27年度から下水道事業会計に引き継ぐための規定を加える。
(全員賛成)



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみよう!!

サークル紹介第23回

津幡クラブ

みんなバドミントンが 大好きです

バドミントン協会理事長 酒勾 良夫



津幡クラブは今年創立25年を迎えました。主に石川県社会人リーグで上位の成績を収めることを目標に活動しています。「バドミントンが好きで好きでたまらない」という人の集まりです。

18歳から70歳まで幅広い年齢層と一緒に練習をしています。シャトルを打った感覚と独特の飛び方がたまりません。腕に覚えのある上級者から本格的にやってみたいと思う方まで一緒に楽しみませんか。まずはドアを開けてください。待っています。

◆練習場所と時間
☆運動公園体育館
毎週(金) 19時30分
〜21時30分
毎週(土) 9時〜12時

◆連絡先
090-18266
14371 (酒勾)



ディスカバー つばた⑫

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～笠野神社のヤブツバキ (笠池ヶ原)～

笠池ヶ原区にある笠野神社の境内には、ヤブツバキの巨樹があります。このツバキは、大昔この地を覆っていた原生林の一種です。



今このヤブツバキは、高さ7m、幹周り2.3mを誇り、県内第1位にランクされています。

表紙の題字は

英田小学校6年

吉田 亜弥さんの作品です。

学校から見る緑豊かな自然、心を落ち着かせてくれて大好きです。四季を通じていろいろな景色を見せてくれます。



あとがき

新しい6人のメンバーによる議会だよりの編集が始まりました。今までの編集方針を尊重し、手に取ってもらい、読んでもらえる紙面を目指します。関心を持ってもらえることが第一歩です。皆さまのご感想をお待ちしています。(堀合)

編集委員長 堀谷 道子
副委員長 荒井 克
委員 竹内 竜也
井上新太郎
八十嶋孝司
森山 時夫

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀 (本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
 - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
 - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします